

北播磨地域ビジョン委員会「生活分科会」 第9回記録

- 1 日時：令和3年2月4日（木） 18：00～19：30
- 2 場所：兵庫県社総合庁舎本館入札室(Zoom 併用)
- 3 参加者：生活分科会メンバー6名出席
- 4 企画部会報告（分科会長）

外国人向け「意思疎通ボード」の作成について、優しい日本語、ピクトグラム、双方向コミュニケーション、スマホによる疎通等を考えてはどうか、また防災講座の実施については、体験型にしてはどうか、という意見があった。

補足：環境分科会長から、案外やさしい日本語による意思疎通の提案があった。

5 活動計画の具体的実践について（第6回分科会時点に遡る）

ア 実践テーマ

- ・今後やることを絞り、寸劇と意思疎通ボードの作成に取り組むことにする。
そのためにまず、勉強会をすることにする。勉強会の成果を実践につなげる。

イ 災害弱者を知る勉強会の開催

- ・次回、多可町地域共生社会づくりアドバイザー小嶋明さんに来ていただき話をしてもらう。3月4日、11日、18日（いずれも木曜日）から来ていただく日を調整し、決まれば連絡する。多可町のアスパルでと言われているが、社総合庁舎に来ていただけないか願います。
- ・避難所運営の実際について見聞することや、災害復旧現場（防災工事）や防災建造物を見学することによって、実地に防災について学ぶ。

ウ 災害弱者を支援する実践

- ・勉強会の成果を踏まえ、災害弱者の支援につながる寸劇の実施や、意思疎通ボードを作成し・普及させる。余力があれば講座の開催を検討する。

- ・防災をテーマにしたワークショップへの参画という形で、防災グッズの作成や防災クイズの問答から、災害弱者に対する支援の必要性を普及・普及させる。

6 その他

- ・延期になった西脇市「みらいえ DE 防災体験」への参画について
現時点で、部外秘ですが、3月下旬を予定。時間は10時30分～12時30分。雨天中止。
内容 防災ワークショップ 「新聞スリッパ作り体験」
- ・北播磨地域未来フォーラム開催と当日の役割分担について
受付、案内、舞台転換、グループワーク（生活分科会）

7 次回開催日程

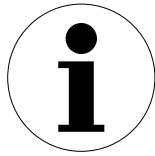
3月4日（木） or 3月11日（木） or 3月18日（木）のいずれかの18時00分から勉強会

8 閉会

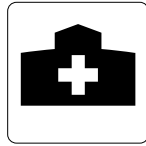
公共・一般施設図記号（38項目）



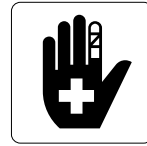
案内所
Directions
问讯处
問訊處
안내소



情報コーナー
Information
信息中心
信息中心
정보 센터



病院
Hospital
医院
醫院
병원



救護所
First Aid
救护所
救護所
의무실



警察
Police
警察
警方
경찰



お手洗
Toilets
洗手间
洗手間
화장실



男子
Men
男子
男子
남자



女子
Women
女子
女子
여자



身障者用設備
Accessible Facility
轮椅人士用洗手间
輪椅人士用洗手間
장애인용 설비



車椅子スロープ
Accessible Ramp
轮椅专用道
輪椅專用道
휠체어용 슬로프



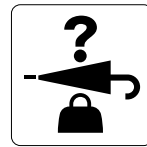
飲料水
Drinking Water
饮用水
飲用水
마시는 물



喫煙所 ※
Smoking Area
吸烟角
吸煙角
흡연소



チェックイン/受付
Check-in/ Reception
服务台
服務台
체크인/접수



忘れ物取扱所
Lost and Found
遺失物品寄存处
遺失物品寄存處
분실물 센터



ホテル/宿泊施設
Hotel/ Accommodation
酒店/宿泊设施
酒店/宿泊設施
호텔/숙박시설



きっぷうりば/精算所
Tickets/Fare Adjustment
售票口/补票清算处
售票口/補票清算處
티켓 판매소/정산소



手荷物一時預かり所
Baggage Storage
临时 寄存处
臨時 寄存處
수화물 일시 보관소



コインロッカー
Coin Lockers
投币式自动 存放柜
投幣式自動 存放櫃
코인 로커



休憩所/待合室
Lounge /Waiting Room
休息所/等候室
休息所/等候室
휴게실/대합실

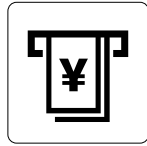


ミーティングポイント
Meeting Point
等人处
等人處
만남 광장

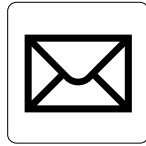
公共・一般施設図記号（38項目）



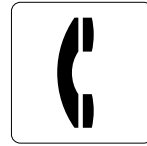
銀行・両替
Bank/Money Exchange
銀行・兌換
銀行・兌換
은행·환전
(通貨記号差し替え可)



キャッシュサービス
ATM
取款机
取款機
현금인출 서비스
(通貨記号差し替え可)



郵便
Post
邮政
郵政
우편



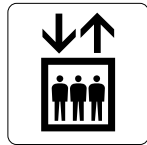
電話
Telephone
电话
電話
전화



ファックス
Fax
传真
傳真
팩스



カート
Carts
手推车
手推車
카트



エレベーター
Elevator
直行电梯
直行電梯
엘리베이터



エスカレーター
Escalator
自动扶梯
自動扶梯
에스컬레이터



階段
Stairs
台阶
台階
계단



乳幼児用設備
Nursery
乳幼児用设备
乳幼児用設備
유아용 설비



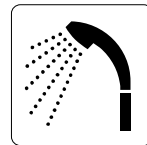
クローク
Cloakroom
衣帽室
衣帽室
물품 보관소



更衣室
Dressing Room
更衣室
更衣室
탈의실



更衣室(女子)
Dressing Room (Women)
更衣室(女子)
更衣室(女子)
탈의실(여자)



シャワー
Showers
淋浴
淋浴
샤워



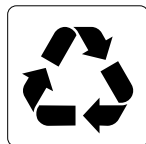
浴室
Baths
浴室
浴室
욕실



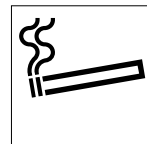
水飲み場
Drinking Water
饮水处
飲水處
음료수 대



くず入れ
Trash
垃圾箱
垃圾箱
휴지통



リサイクル品回収施設
Recycling Facilities
废品回收站
廢品回收站
재활용품 회수시설



※(備考)
火災予防条例で下記の図記号の使用が規定されている場所には、下記の図記号を使用する必要がある。

防災知識クイズで学ぶ

兵庫消防署 ゲーム開発へ

阪神・淡路大震災の発生から26年になるのを前に、クイズ形式で防災知識が学べる「ミライの防災知識向上ゲーム」の開発を、兵庫消防署と神戸の民間企業が共同で進めている。12日には神戸市兵庫区の夙川高校で生徒らを対象に実証実験を実施。今後生徒らの意見を取り入れ、3月末までに提供を始める予定だ。

(高田康夫)

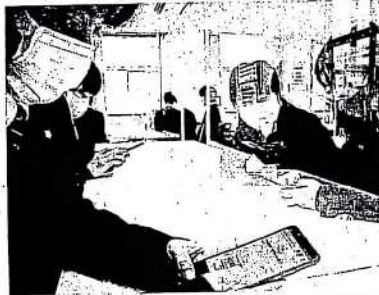
LINE活用 若者向け

行政課題の解決と起業家育成を目的に、神戸新聞社などが運営を担う「アーバンイノベーション神戸」の事業の一環。

発案したのは、同消防署 消防防災課の永田秀樹さん(47)。若者にスマートフォンを使ってゲーム感覚で防災を学んでもらおうと、無

料通信アプリ「LINE(ライン)」を利用して早押しクイズ学習アプリ「はやべん」を提供する「いまみらい塾」(神戸市中央区)と共同開発。はやべんに防災単元を加える形でサービスを始める予定だ。

実証実験には、同校の1年生54人が参加。永田さん



実証実験で防災クイズに挑戦する高校生ら。夙川高校

は「防災訓練に参加する若者が少ない」などと、ゲームの開発に至った経緯を説明した。その後、生徒らは計60問の防災クイズにチャレンジ。順位を競い合い、「このゲームをしなければ、一生知らないことも多かったと思う」などと話していた。

災害弱者の避難計画促す

法改正案提出へ 作成自治体1割のみ

自分で避難するのが難しい災害弱者の避難計画を事前に決めておく「個別計画」について、国は、作成を市区町村の努力義務として災害対策基本法に明記する方針を決めた。作成を終えた自治体は1割にとどまっておろし、計画作りを加速させるのが狙い。改正案を18日召集の通常国会に提出する。

個別計画は、高齢者や障害者ら「避難行動要支援者」

「個別計画の策定を巡り、自治体間の格差が広がる。2018年7月の西日本豪雨で浸水被害を受けた岡山県倉敷市真備町では、昨年10月から個別計画の作成手順や事例を「ヒント集」としてまとめ、計画作りを

個別計画 作成に差

12%にとどまる。作成中は50%、未作成は38%にのぼる。

作成が進まない要因として、自治体の人員不足や、要支援者の状況に詳しい介護事業者や地域の支援を得る難しさが挙げられている。国は専門家や自治体へ派遣することや財政支援の実施も検討している。

進める。昨年末時点で約20人の作成を終えた。真備町では豪雨で51人が逃げ遅れなどで犠牲となり、うち42人は「避難行動要支援者」として市が作成した名簿に記載されていた。市は個別計画作成を町

内会などでつくる防災組織に依頼していたが、メンバーの高齢化で進んでいなかった。

同町の片岡合さん(78)は昨年、家族や近隣住民、通所先の施設関係者らと個別計画を一緒に作った。災害が予想される5〜3日前に薬を余分にもらい、1日前に施設に受け入れてもらうなどの内容。片岡さんは「計画があれば間違った判断をしなくて済む」と話す。

な地域もあり、「避難時の支援を担う人が足りない」との声がかかる。作成済みは要支援者約2万8000人の一部にとどまる。

一昨年9月の台風15号で住宅被害が多発した千葉市は、地域のつながりの希薄化に悩む。市は自治会などに計画作りを推奨してきたが、住民のつながりが希薄

1/13 読売

